

バードビュー

全国的に近年経験してない寒さと降雪に見舞われている。中国地区でも例年になく早い降雪である。毎年雪が降る山陰地区でも、近年経験したことがないレベルの降雪量になっているようだ。住まいがある広島県でも、例年より減少に降らない南部や平地でも積もるほどだ。
○そんな広島でも、スタッドレスタイヤへの交換やタイヤチェーンを求める客で、ガソリンスタンドやカー用品店がにぎわいを見せる。地元の人々も、本格的な降雪が始まらないと冬支度に入らない。自動車ディーラーでは早めの交換を呼びかけているが、啓発には時間を要するようだ。

国内マーケット

新聞のご購読はフリーダイヤル 0120-461-497
電子版のお申し込みは https://www.netdenjd.com

軽のメリット最大限アピール



山形軽協が3年ぶりフェア

山形県軽自動車協会(鈴木武浩会長)は、山形市の山形国際交流プラザ(山形ビッグウイング屋内展示場)で「県内メーカーディーラー軽自動車フェア2023」を開催した。写真。3年ぶりの開催で30回目を迎えたフェアには、7ブランドのディーラーが参加。新車と中古車合わせて200台を展示し、2日間で合計200人が来場した。

コ、安全と安心のメリットを最大限にアピールし、フェアを大いに盛り上げていきたい」とあいさつした。
成約特典として「山形県産ブランド米つや姫5kg」や「すき焼き用米沢牛」を用意。車の無料査定や試乗と合わせ、ディーラー担当者は来場客に最適な1台を提案し、商談を繰り広げた。
会場では来場アンケート抽選のハンドマッサージコーナーやキャンピングカー・キャンプ用品レンタルの展示、「JAF子ども安全免許証」発行ブースなど、家族連れで楽しめる企画も人気を集め、フェアは盛況だった。(山形)

EVモーターズ・ジャパネット物流F
新モデル

【福岡】EVモーターズ・ジャパネット(佐藤裕之社長、北九州市若松区)は、東京都江東区で3日間にわたって開かれた「第2回スマート物流EXPO」に、商用車3台を出展、新たにラインアップに加わった電気自動車(EV)3車種を初披露した。
出展したのは、ラストワンマイル輸送用の物流車(積載1t、積載2t)に加え、三輪電動トライク。物流車はバッテリー劣化を大幅に抑制する昇り漏洩なども検知できるため、事故の抑制も図れる。
オイルの配送状況もデジタルで管理できるため、効率的な物流体制を構築できる。将来的には一定の残量になったタイミングで自動発注するシステム構築が視野にある。
昨秋までに、ボルボ・カー・ジャパネット(マーティン・パーソン社長、東京都港区)の正規ディーラーの全106店舗にシステムを導入した。今後、営業活動を強化して新車ディーラーや整備事業者への納入件数を増やしていく方針。

FUKUDA

生産性向上にプラス

タンク残量不足で自動連絡

【京都】自動車エンジンオイル販売のFUKUDA福田喜之社長、京都市山科区の「環境配慮型エンジンオイルシステム」が、生産性向上につながる取り組みとして注目を浴びている。各店舗で整備工場のオイルタンクの残量を機械が検知し、不足し始めると自動的に連絡する仕組みを採用する。これにより、各店の整備士がオイルタンクの残量を気にすることなく作業に専念できるほか、受発注の手間などを削減できる。同社にとっても計画的な配送が可能になり、業務効率の改善に役立つ。



同社の配送車両



エンジン配送システムを導入したタンク。上部にセンサーを取り付けている

取り組みの背景には、少子高齢化による労働人口の減少に加え、トラックドライバーの「2024年問題」も課題になる中で、業務を遂行する上でデジタル化が不可欠と判断し、開発に着手。顧客となる新車ディーラーや整備事業者の在庫管理の効率化につながる施策を考案した。
環境配慮型エンジンオイルシステムは、据え付け型のタンクを各店舗に設置する。残量検知センサーを通じて現在のオイル量を把握し、計測データを自動で送信する。このため、オイルタンクの残量を可視化できる。
設定された残量を切ると、アラームが各店や同社の担当者者に自動で発信される。その後は、納期を調整するだけで欠品する事態を防ぐことが可能となる。また、温度の急上昇者の在庫管理の効率化につながる施策を考案した。

山形「絵本教室」を初開催
子ども向けに創作イベント

【福島】ネットトヨタ郡山(小室和人)社長は、郡山市の本社緑町店で「絵本教室」を初開催した。写真。子どもへの健やかな成長を支援する地域貢献の一環で、移動絵本図書館のみず文庫の協力の下、読み聞かせやお絵描き体験などを行った。

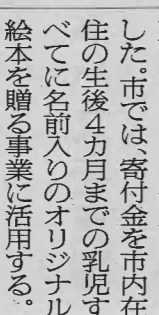


参加者は、冊子にクルマの絵を描き、切り絵を張るなどしてオリジナルの絵本を完成させ、イベントを通じて自動車に親しんでもらえるよう工夫した。担当者は「コロナ禍の感染状況に配慮しながら、募集人数の拡大や他店舗での開催を検討したい」と話す。

ネットトヨタ郡山(小室和人)社長は、郡山市の本社緑町店で「絵本教室」を初開催した。写真。子どもへの健やかな成長を支援する地域貢献の一環で、移動絵本図書館のみず文庫の協力の下、読み聞かせやお絵描き体験などを行った。

売上金の一部を
菊川市に寄付

【静岡】静岡トヨタ(太田勝之社長)は、新車店舗「ネットトヨタ浜松小笠店」(菊川市)で、売上金の一部を菊川市に寄付した。写真。菊川市役所で執り行われた贈呈式では、同社の佐野桂常務が長谷川寛彦市長に寄付金の目録を贈呈した。これを受け、市から同社に対して感謝状が贈られた。



寄付金の目録を長谷川市長に手渡す佐野常務(左)

イベント期間中の週末2日間、地元JA協賛の「産直マルシェ」が開催され、286組620人が詰めかけた。

顧客交流企画に趣向
皆が楽しめるイベントを

玉トヨペット
野球教室や
成田山初詣

【さいたま】埼玉トヨペット(平沼一幸会長兼社長)は、お客さま交流の企画内容に趣向を凝らす。営業推進部販売促進課のスタッフ一人ひとりが流行や話題にアンテナを高くし、知恵を出し合いながら老若男女が楽しめるイベントを開催している。

今回は小学生対象の「埼玉西武ライオンズの選手による野球教室」と、家族で参加できる「日帰りバスで行く成田山初詣」を企画。野球教室は

埼玉西武ライオンズの現役選手(齊藤誠人選手、鈴木将平選手、高木渉選手、滝澤夏央選手)が小学生に野球の基本を指導し、成田山初詣は大手旅行会社の運営で実施した。野球教室は駿河台大学野球場(飯能市)を会場とし、応募総数60人に対して抽選に当たった49人が参加した。練習プログラムは「キヤッチボール」「バレーボール」「バレーボール」。

「ギフトセット」と「リッチケーキ」「電気フライヤー」「スチームジェットクリーナー」「アミ焼き大將」「コンパクト防災6点セット」「ワイヤレスイヤホン」を用意した。同社は当たらなかった参加者に成田山銘菓「なごみるく」を推奨した。



見事に景品をゲット

た。募集は専用ホームページを用意し、ウェブ応募ができない顧客には店舗スタッフが入力を代行。当選者には郵送で案内した。
成田山初詣は応募総数117人に対して、当選した85人が参加し、同社が参加費の一部を負担した。成田山新勝寺の開山縁起「御護摩札(おごまふだ)」は事前予約で受け付けた。参加者はバス5台に分乗して移動、復路の車内で抽選会を楽しんだ。景品は豚のテーマパーク・サイボクの「ギフトセット」と「リッチケーキ」「電気フライヤー」「スチームジェットクリーナー」「アミ焼き大將」「コンパクト防災6点セット」「ワイヤレスイヤホン」を用意した。同社は当たらなかった参加者に成田山銘菓「なごみるく」を推奨した。



イベント期間中の週末2日間、地元JA協賛の「産直マルシェ」が開催され、286組620人が詰めかけた。

見事に景品をゲット